



infocom

株主のみなさまへ

2017年3月期 2016年4月1日 → 2017年3月31日

インフォコム株式会社

<http://www.infocom.co.jp/>

証券コード:4348

“進化”から“共創”へ

3.11から6年が経ちました。東京にいと東北にも日常が戻ったように感じてしましますが、被災地の復興への取り組みはまだまだ続いています。

あの時、私たちも何か支援できないかと考え、人々が集う場「みんなの家」を創ろうと決意しました。支援は一時的なものではなく、そこに住む人が働き生活していくための継続的なものが必要だと思ったからです。この「みんなの家」を建てるにあたり、趣旨に賛同していただいた多くの企業から多大なご支援をいただき

ました。当時はまだ震災から日も浅く、人も資材も不足するなか、建設に関わった企業のみなさまには、採算を度外視してまで協力していただき、短期間で「みんなの家」を完成することができました。今では夏祭りや餅つきなどのイベントが恒例となり、地元のみなさまの憩いの場として定着しつつあると思います。

「みんなの家」の建設・運営を通じて、あらためて企業の役割について考えさせられました。企業が果たすべき役割とは経済的価値(利益)の創出だけではなく、社会的価値の創出も同様に求められているのではな

いかということなのです。

今年度より新中期経営計画が始まります。今回は「共創」をスローガンに電子コミックとヘルスケアを重点事業として成長を追求していきます。とりわけヘルスケア事業では、新たに介護領域に進出し事業創出を図ろうとしています。みなさまもご存じのとおり日本は急速に高齢化が進んでおり、2025年には国民の3人に1人が65歳以上の高齢者になると予想されています。一方で介護する職員も高齢化しており、2025年には約40万人の介護職員が不足すると言われています。このような諸問題を解決するためにITを活用しようという機運が高まっており、我々もそこにビジネスチャンスがあると考えています。

しかしながら、日本社会が直面するこの大きな問題はITだけで解決できるものではありません。ましてや当社だけで変えられるものでもありません。それでも、私たちは先進的な技術を持つベンチャー企業と協力して新たなサービスを創出し、介護事業者とも一緒になって取り組んでいきます。もちろん企業ですから「利益の追求」が第一ですが、それだけを求めるものではありません。私たちの技術とノウハウを生かし、関係企業だけでなく行政や地域とも協力して、よりよき社会の実現に貢献することが、私たちの役割だと考えています。そういう想いも込めて「共創」を掲げました。

新中期経営計画について

2019年度の業績目標には成長性(売上高、キャッシュフロー)の重視と収益性の維持を重視し、以下のとおりとしました。

- 売上高 600～800億円

新中期経営計画の 達成に向けて、注力します。

代表取締役社長 CEO
竹原 教博



前中期経営計画

2012年4月～2017年3月

新中期経営計画

2017年4月～2020年3月

2012年3月期実績

売上高
364億円

営業利益
34億円

営業利益率
9.3%

ROE
11.8%

2017年3月期実績

売上高
417億円

営業利益
47億円

営業利益率
11.4%

ROE
14.6%

EBITDA
58億円

2020年3月期計画

売上高
600～800億円

ROE
10%以上

EBITDA
70～100億円

- EBITDA 70～100億円
- ROE 10%以上

2017年度から2019年度の具体的なアクションをご紹介します。

「電子コミック」と「ヘルスケア」を重点事業として更なる成長を目指します。

電子コミック事業では、AI技術による機能強化やユーザーエクスペリエンスの向上を始めとした様々な施策により市場推移を上回る成長を目指し、2019年度には売上高300億円となるトップシェアを確立します。

ヘルスケア事業では、新たに介護領域を展開します。介護領域は既に

「介護丸ごとIT!」というコンセプトのもと、介護施設の支援サービスや、見守りセンターなどIoTの技術を活用した様々なビジネスの展開に着手しています。2年前にスタートした「デジタルヘルスコネクト」やインドネシアでのスタートアップ企業を支援するプログラム「GnB Accelerator」などを通じた協業先との「共創」により、2019年度には140億円規模まで成長を加速します。

また、成長の追求には事業シナジーが望める会社とのM&Aが不可欠です。そのため戦略投資枠を200億円に設定しました。

株主還元

当期の年間配当については、年間配当金25円を第35回定時株主総会にご提案しました。次期は、第2四半期末に1株当たり配当金10円、また期末に1株当たり配当金25円として1株当たり年間配当金35円を予想しています。

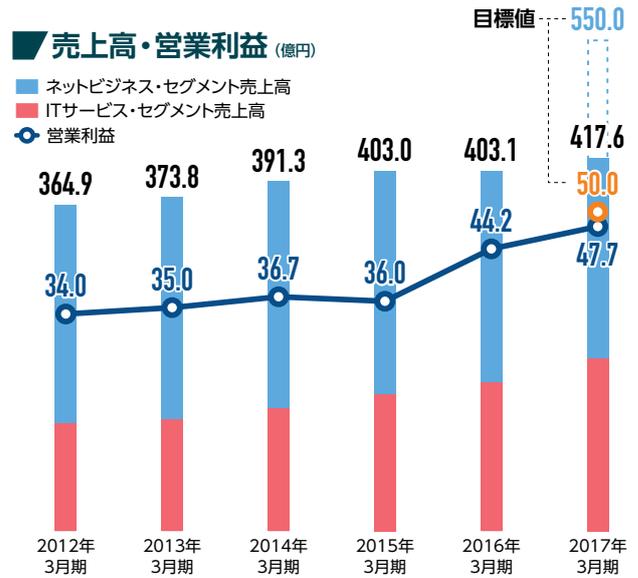
また業績向上に連動した増配に努め、2019年度の配当性向は30%を目標といたしました。

株主のみなさまにおかれましては、今後とも変わらぬご支援をよろしくお願いいたします。

前中期経営計画「～ United Innovation・進化～」総括

- 1 環境変化へのスピーディな対応による“進化”
 - 2 重点事業領域の業容拡大に向けた“進化”
 - 3 “進化”を支える事業基盤の継続的強化
- の3つを基本方針に注力

- ✔ 電子コミックが大きく成長し、5期連続の増収・最高売上更新を継続
- ✔ 事業ポートフォリオの見直し、構造改革の推進により収益性が改善



新中期経営計画「United Innovation “共創”」概要

基本方針と主要施策

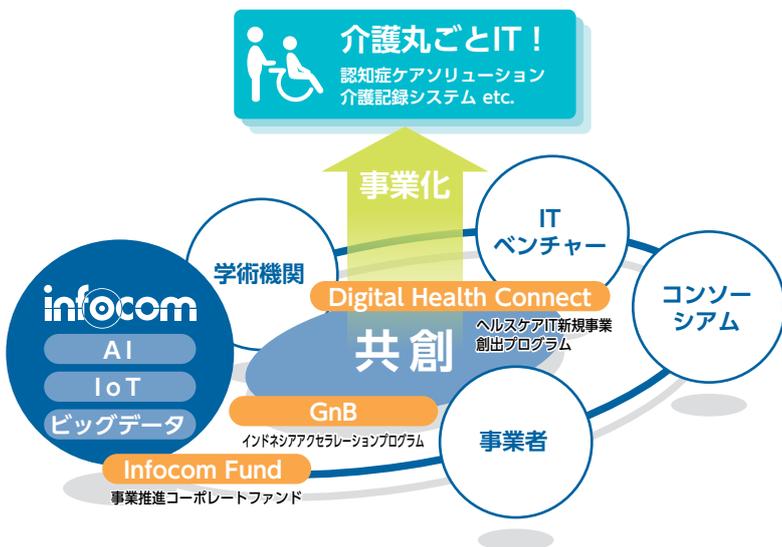
1. 成長の追求

- ✔ 電子コミックとヘルスケアを重点事業として成長
- ✔ M&Aの積極的推進
- ✔ AIやIoTを活用したビジネス展開

2. 成長を支える経営基盤の継続的強化

- ✔ 品質管理の継続強化とITを活用したサービス品質向上
- ✔ 業務プロセス改革による効率化と社会との協業推進の強化
- ✔ 事業推進・技術等の人材育成強化

共創の具体例



成長のイメージ

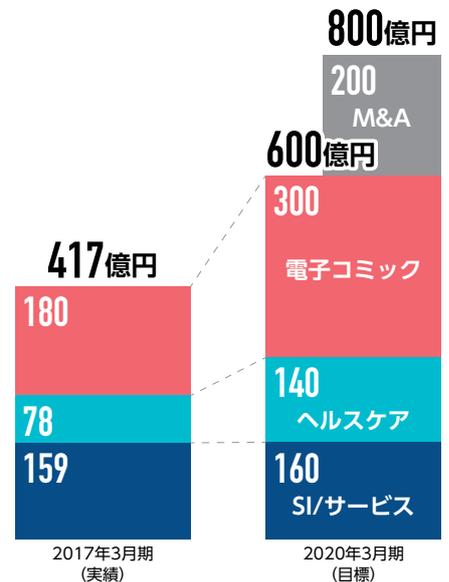
重点事業の更なる集中
ヘルスケアと電子コミックで成長

M&A

戦略投資枠200億円を設定

共創による事業創出

AI、IoTを活用したビジネス展開



重点事業成長のシナリオ



電子コミック事業



市場推移を上回る成長で、
トップシェア確立を目指し、売上高300億円へ

1 最新IT技術による機能強化

- ✔ AI技術の適用
- ✔ システム強化による品質向上、セキュリティ強化

2 導線の強化 ⇒ 会員数拡大

- ✔ ネット広告の効率最大化
- ✔ 決済手段の多様化

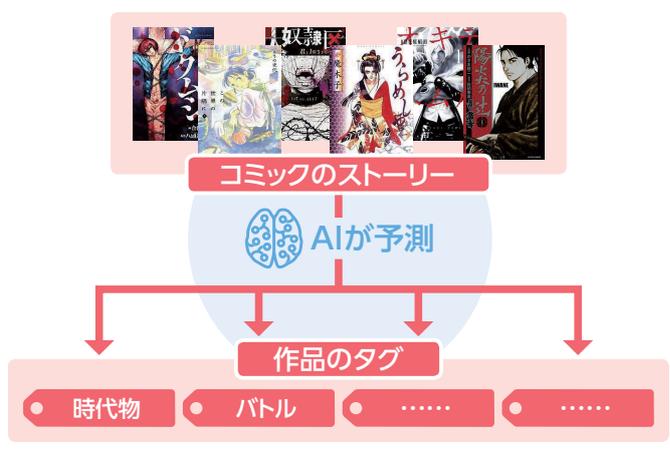
3 ユーザーエクスペリエンスの向上

- ✔ タテ読みスクロール、独占先行配信
- ✔ 作業プロセス見直しによる早期配信

POINT

AI技術を活用

AIの活用によりコミックのタグ(作品をサイトから検索するためのキーワード)付けを自動化。業務の効率化と売上の増加を実現。



うらめしや©魔木子/双葉社 オキテナムル©連打一人/双葉社 陽炎の社 居眠り戀音©かざま鋭二/佐伯泰英/双葉社 この世界の片隅に©この史代/双葉社 大奴隷区 君と1億3千万の奴隷©オイシヒロ/岡田伸一/双葉社 ドクムシの八頭道尾/合田世冬/双葉社



ヘルスケア事業



地域包括/介護領域への注力で
ヘルスケア事業を140億円規模へ成長

1 地域包括ケア・介護領域でのプレゼンス確立 (20億円超へ)

- ✔ 介護丸ごとIT!の推進
- ✔ 介護プラットフォームサービスの立上げ

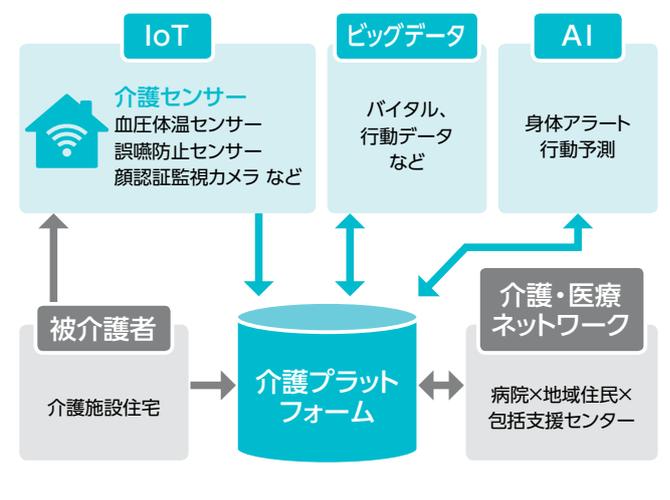
2 AI、IoTを使った新規ヘルスケアサービス

3 病院・製薬企業向けのラインナップ拡充

- ✔ 病院向けは、手術・看護部門向けに注力展開
- ✔ 製薬企業向けは、製販一体化による成長加速

POINT

介護丸ごとIT!を推し進め、
介護プラットフォームサービスを展開





News Flash

2016.10-2017.3

2017年

11月

ネットビジネス

電子書籍配信サービス「めちゃコミック」が10周年

ITサービス

双方向Web会議システム「聖徳玉子」が「RICOH THETA×IoTデベロッパーズコンテスト」で最優秀賞を受賞

その他

「Gomez IRサイト総合ランキング2016」にて総合ランキング銅賞、新興市場7位に選定

1月

ネットビジネス

「めちゃコミック」が株式会社新潮社様のコミック提供を開始!

2月

ヘルスケア

株式会社Z-Works様と資本・業務提携し、介護業務の効率化を実現するIoTシステムを共同開発

2016年

10月

ITサービス

「次世代農業EXPO」に参考出展し、IoTを用いた土壌環境監視ソリューションを公開

ネットビジネス

「めちゃコミック」など電子書籍配信サービスの売上が前期を上回るスピードで100億円を突破!!

12月

CSR

熊本地震被災地の復興支援として、宮城県岩沼産のお米を熊本県益城町「みんなの家」に提供

PICK UP 03

その他

日興アイ・アール株式会社様による「2016年度全上場企業ホームページ充実度ランキング調査」にて「総合ランキング最優秀サイト」、「新興市場ランキング最優秀サイト」に選定

ネットビジネス

20代~30代女性の満足度No.1を獲得!「めちゃコミック」がテレビCM第9弾の放映を開始

ITサービス

TIS株式会社様とクラウド型ID管理サービス「OneLogin」の販売代理店契約を締結

3月

ヘルスケア

「介護丸ごとIT!」の第2弾介護記録システムをソラストに導入

PICK UP 01

ネットビジネス

「めちゃコミック」縦スクロール読みに対応

PICK UP 02

ヘルスケア

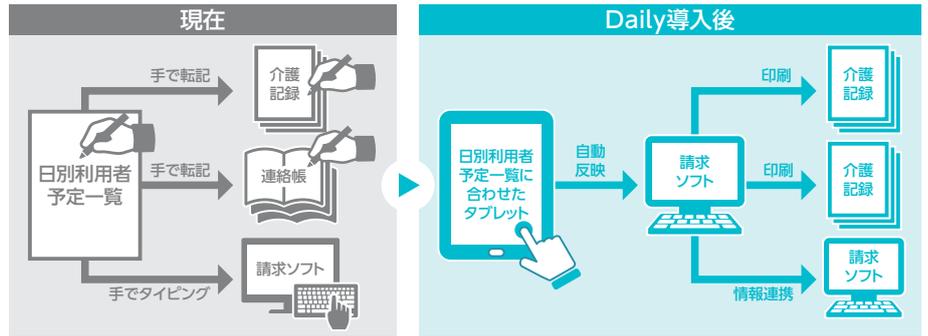
デジタルヘルスコネク、シニア向けビジネスコンテストをSOMPOホールディングスグループ様、Aging2.0様と共同開催

ITサービス

国際的なデジタルアーカイブの規格「IIIF」に対応した「岡山県立記録資料館システム」を構築

PICK UP 01 「介護丸ごとIT!」の第2弾介護記録システムをソラストに導入

インフォコムが推進する「介護丸ごとIT!」の第2弾として、業務・資本提携した株式会社ソラストに介護記録システム「Daily」（デイリー）を構築しました。このシステムはヘルスケアIT新事業創出プログラム「デジタルヘルスコネクト」で最優秀賞を受賞した介護記録システム「Daily」



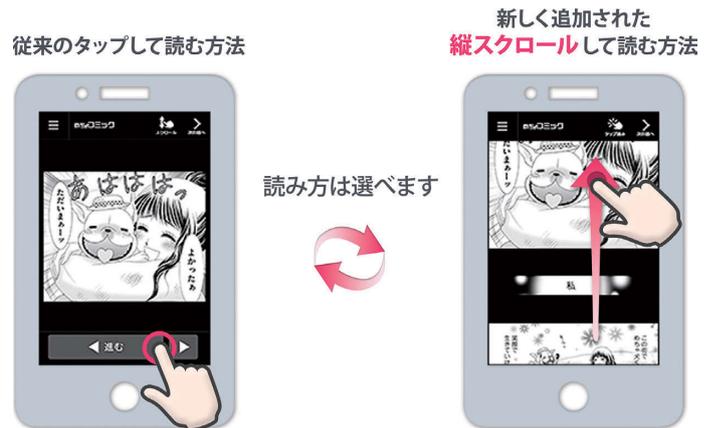
を活用し、従来介護業務従事者が所定の様式に手書きで記入し、管理していた介護記録をパソコンやタブレットを利用する方式に切り替え、タブレットの画面を軽く叩くタップで簡単に入力などができる仕組みに整えたものです。

その結果、介護記録管理が容易になり、同施設に勤める介護業務従事者の作業時間を月単位で大幅に削減できました。

PICK UP 02 「めちゃコミック」縦スクロール読みに対応

「めちゃコミック」では、これまで画面をタップしてコミックを一コマずつお読みいただく形式でご提供していましたが、今回の機能追加でコマ表示と縦スクロールを選べるようになりました。縦スクロール読みはスマートフォンならではのスムーズな使い方でお楽しみいただけます。

「めちゃコミック」はサービス開始より10周年を迎え、無料コミックや増量ポイントなど様々なお客さまへの還元策を行っているほか、最新AI技術を使ったタグ付け(好みの作品を検索するための目印のようなもの)機能強化などユーザーエクスペリエンスの向上に注力しています。



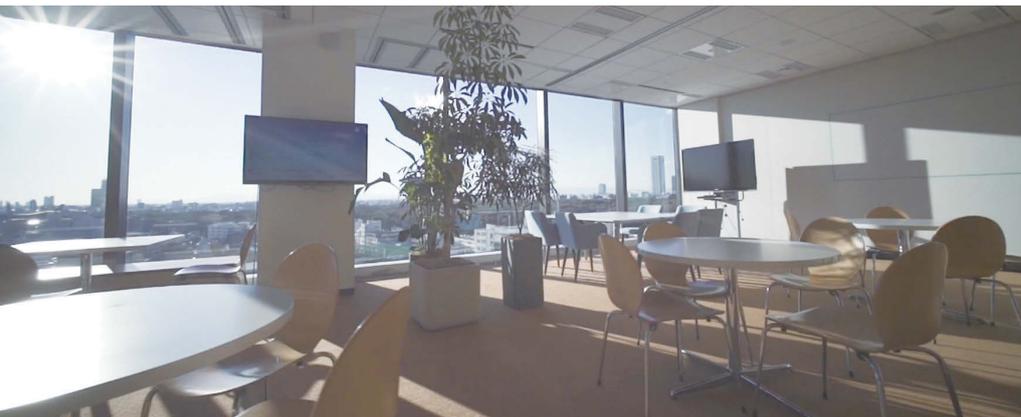
PICK UP 03 熊本地震被災地の復興支援～宮城県岩沼産のお米を提供～



熊本県益城町「テクノ仮設団地」内に完成した集会施設「みんなの家」に宮城県岩沼市で収穫された「ひとめぼれ」700kgを提供しました。

インフォコムでは東日本大震災被災地の復興を継続的に支援する目的で宮城県岩沼市に岩沼「みんなの家」を2013年に建設し、同事業所を中心に地域のみなさまとともに復興活動を進めています。

このたび熊本地震で甚大な被害を受けられた益城町に大規模な仮設住宅が完成したため、生活必需品を支援しました。今後も地域のみなさまとともに被災地の復興に取り組んでまいります。



働きやすさNo.1企業を目指して

— インフォCOMのCSR活動 Vol.1 —

インフォCOMでは「社員は宝」と考え、それぞれのメンバーが仕事を楽しみ、様々なヒントやアイデアが浮かぶような環境づくりに取り組んでいます。

社員が打ち合わせをしたり、一息つく場所として利用するオープンスペースの「INFOPlace」は、窓から明治神宮と富士山を一望することができ、緑が多く開放的な環境です。ここで社員は仕事のアイデアを練ることもあれば、雑談を楽しんだりします。会社のイベントもこちらで行われることも多く、通りがかった人がそれを聞きいる姿もよく見られます。併設の「ひだまりカフェ」では、社内でドリップしたコーヒーで、疲れた頭と体を休められると社員にも評判です。

また、鍼灸マッサージ師が常駐しており、無料でマッサージを受けることができます。



社員に大人気のマッサージ

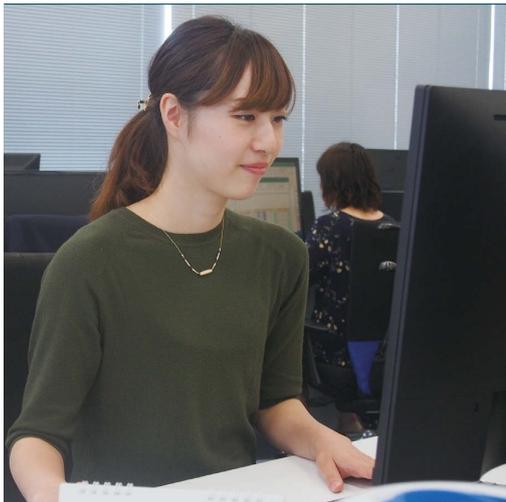


インフォCOMのCSRの考え方

インフォCOMグループでは、「ICTの進化を通じて社会のイノベーションに貢献する。」を企業理念とし、市場や技術の変化を先取りし、社内外の事業関係者と積極的に「共創」することで、社会の役に立つものを提供していきたいと考えています。

そしてインフォCOMグループのステークホルダーのみなさまにとっての企業価値の持続的向上がCSR活動の本質ととらえ、社会との信頼関係の強化、高い倫理観にもとづいた事業活動や透明性の高いコーポレート・ガバナンスの確立が不可欠です。

「お客さま」「株主さま」「地域」「従業員」「震災の復興支援」の各分野でステークホルダーとの取り組みを推進し、信頼関係を築くとともに、事業活動を通じて社会に貢献してまいります。



Close Up

インフォコムでは働くママも大活躍！ 既婚女性の6割が働くママ

現在は営業部門の予算と実績の管理などを担当しています。数字の扱いは緊張しますが、やりがいを持って働いています。

インフォコムでは女性が仕事と育児の両立ができるよう最大限の支援を行っています。現在既婚女性のうち、およそ6割の方が「働くママ」です。様々な制度を整え、沢山の女性が活躍しています。

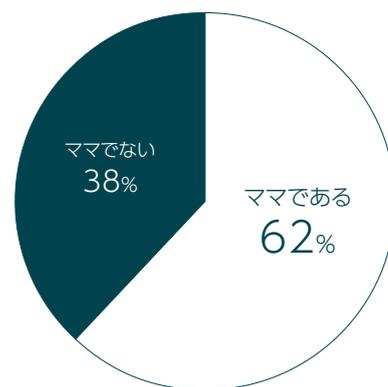
今回「働くママ」の1人、エンタープライズ本部、木村さんにインタビューしました。

「営業部門の配属で客先訪問など忙しく働いていましたが、妊娠してから、私が時間を忘れて仕事に没頭する

あまり、上司のほう体が調を気遣って早く帰るように促してくれることもありました。そのような環境なので、定期検診の際は会社から付与される特別休暇を気兼ねなく取得することができました。

育児休暇を取得し、職場復帰してからは、「短時間勤務制度」を使い16時までの勤務。また、子どもの体調不良などの際は「在宅勤務制度」を組み合わせ、育児をしながら短時間でもやりがいがある仕事を任せられ、毎日充実した日々を過ごしています。」

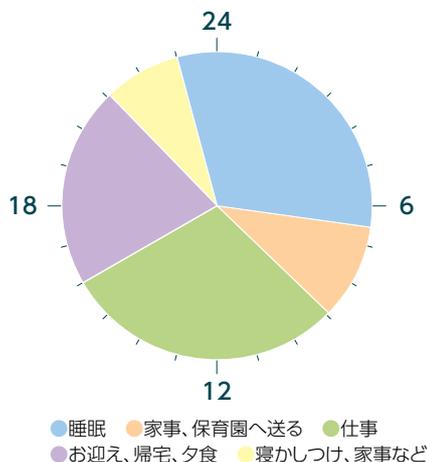
働くママの割合



※正社員既婚女性のうち、子どもがいる比率

その他、出産・育児の他にも配偶者の看護や両親の介護などによって一時的に就業が困難になるような事態を想定し、社員の活躍機会をできるだけ損なわず、より柔軟な働き方ができるように制度の導入・改善に取り組んでいます。

木村さんの1日のスケジュール



- 6:30 起床、家族と一緒に朝食。家事・旦那が保育園に送る。
- 9:00 出勤。メールチェック/会議/資料作成など
- 16:00 退社
- 17:00 保育園にお迎え。その後は夕食、お風呂など
- 21:00 寝かしつけ。自宅で残った仕事をしたり、家事をしたり、読書やテレビなどの自分の時間に。
- 23:00 就寝



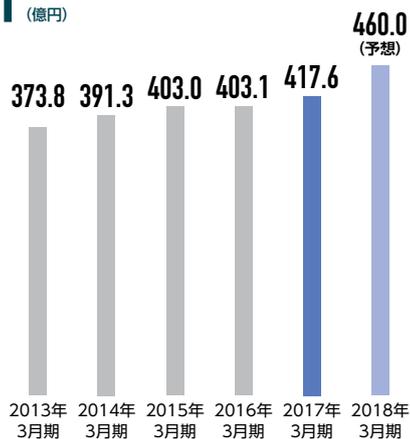
子どもの急な発熱などで早退することもあります。上司にはいつも配慮してもらっています。

POINT 1 電子コミック事業が順調に推移し、売上高、利益とも過去最高を更新

2 データセンターの移転は、計画通り進捗(前期に特別損失として事業再編損を計上)

3 2018年3月期は、新中期経営計画のもと、重点事業である電子コミック事業とヘルスケア事業を伸長させ、当期に引き続き増収増益を計画

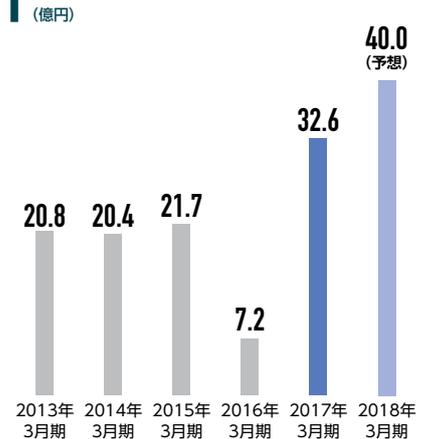
売上高 (億円)



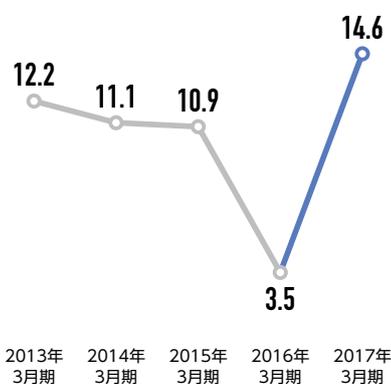
営業利益 (億円)



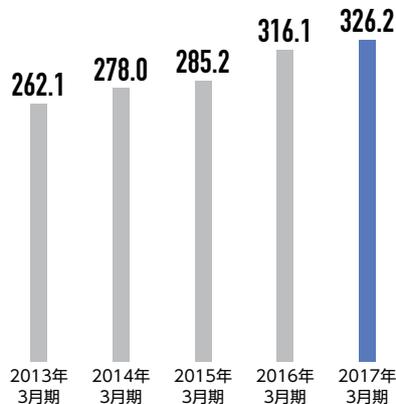
親会社株主に帰属する当期純利益 (億円)



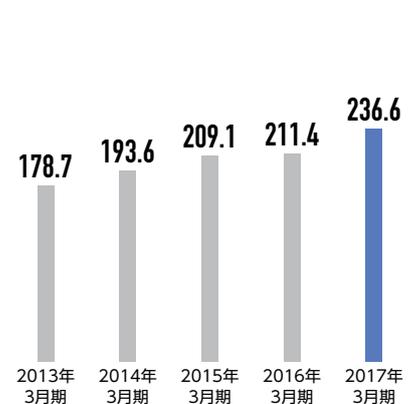
ROE (%)



総資産 (億円)



純資産 (億円)



セグメント別の概況

ITサービス・セグメント

売上高

224.1億円

前期比5.6%減

ヘルスケア事業

78.1億円

営業利益

19.9億円

前期比19.5%減

ネットビジネス・セグメント

売上高

193.5億円

前期比16.7%増

電子コミック事業

180.0億円

営業利益

28.0億円

前期比43.2%増

第35回定時株主総会決議ご通知

当社第35回定時株主総会におきまして、下記のとおり報告並びに決議されましたのでご通知申し上げます。

記

- 報告事項** 第35期(平成28年4月1日から平成29年3月31日まで)事業報告、連結計算書類及び計算書類の内容並びに会計監査人及び監査役会の連結計算書類監査結果報告の件
本件は、表記の内容について報告いたしました。
- 決議事項** 第1号議案 剰余金の配当の件 本件は、原案どおり承認されました。
当期の期末配当は1株当たり15円、配当金の支払開始日は平成29年6月19日でございます。
- 第2号議案 定款一部変更の件 本件は、原案どおり承認されました。
- 第3号議案 取締役6名選任の件 本件は、原案どおり承認されました。

以上

会社概要

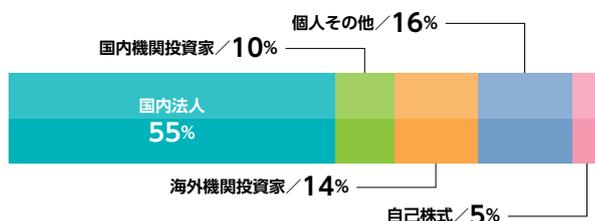
商号	インフォコム株式会社 (INFOCOM CORPORATION)
代表者	代表取締役社長 CEO 竹原 教博
設立	1983年2月
本社所在地	東京都渋谷区神宮前2-34-17
主要拠点	東京都渋谷区、大阪府大阪市、 神奈川県横浜市、福岡県福岡市
決算期	3月末日
資本金	15億90百万円
社員数	637名(単体) 1,074名(連結)
グループ会社	国内8社、海外2社

役員 (2017年6月15日現在)

代表取締役社長	竹原 教博
常務取締役	里見 俊弘
取締役	尾崎 俊博
取締役	海江田 芳樹
取締役	社外 独立 津田 和彦
取締役	社外 独立 藤田 一彦
常勤監査役	玉井 隆
常勤監査役	社外 池田 一志
監査役	遠藤 則明
監査役	社外 独立 小倉 弘行

※ 社外 会社法に定める社外取締役・社外監査役
独立 東京証券取引所の有価証券上場規程に定める独立役員

株式の所有者別状況



株式情報

上場市場(銘柄コード)	東京証券取引所 JASDAQスタンダード(4348)
発行可能株式総数	115,200,000株
発行済株式総数	28,800,000株
株主数	4,013名
事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月開催
基準日	期末配当金:3月末日 中間配当金:9月末日
売買単位	100株
株主名簿管理人 特別口座 口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同事務取扱場所	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都江東区東砂七丁目10番11号 0120-232-711(通話料無料)

公告の方法

電子公告として当社ホームページに掲載いたします。ただし、事故その他やむを得ない事由により電子公告ができない場合は、日本経済新聞に掲載する方法により行います。公告掲載URL:<http://www.infocom.co.jp/>

大株主の状況

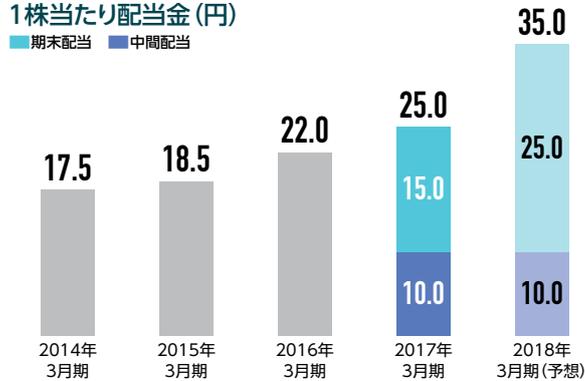
株主名	持株比率(%)
帝人株式会社	55.13
自己株式	5.05
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社	3.68
インフォコムグループ従業員持株会	2.86
日本マスタートラスト信託銀行株式会社	2.67
GOLDMAN SACHS INTERNATIONAL	1.56
資産管理サービス信託銀行株式会社	1.52
BNP PARIBAS SECURITIES SERVICES LUXEMBOURG/JASDEC/FIM/LUXEMBOURG FUNDS/UCITS ASSETS	1.45
Deutsche Bank AG London 610	1.45
THE BANK OF NEW YORK MELLON 140044	1.05

配当方針

インフォコムグループは、株主価値を高める上で安定的な利益還元を重要な経営課題と考えています。資金需要のバランスを考慮の上、健全な財務体質を維持し中長期的な事業拡大に必要な投資を優先するとともに、業績向上に連動した増配に努め配当性向30%を目指す方針です。

1株当たり配当金(円)

■ 期末配当 ■ 中間配当



2017年3月期配当

年間**25円**(前期比**3円増**↑)

2018年3月期配当(予想)

年間**35円**(当期比**10円増**↑)

株主優待制度のご案内

株主のみなさまの日頃のご支援に感謝するとともに、インフォコムグループの事業に対するご理解をより深めていただくことにより、より多くの方々に当社株式を長期的に保有していただくことを目的として株主優待制度を導入しております。

対象となる株主さま

毎年9月30日現在の株主名簿に記載された1単元(100株)以上保有の株主さま

優待の内容

下表に記載の通り、保有株数と保有年数に応じて優待ポイント(1ポイント=1円相当)を贈呈いたします。優待ポイントは、インフォコムグループの株式会社ドゥマンが運営する「オーガニックサイバーストア」で利用可能なポイントまたはインフォコムがご用意した「優待商品」と交換いただけます。

単位: ポイント

保有株数	保有年数	単位: ポイント	
		3年未満	3年以上
100株以上500株未満		1,000	2,000
500株以上1,000株未満		2,000	4,000
1,000株以上		3,000	6,000



株主総会の様子を動画でご覧いただけます

インフォコムでは、ウェブサイトを通じた情報開示の充実に取り組んでおり、株主総会の動画配信を行っております。社長の竹原から、当期の事業報告や今後の事業戦略についてご説明しておりますので、ぜひご覧ください。

<http://www.infocom.co.jp/ir/stock/stockholder.html>



お問い合わせ インフォコム株式会社 広報・IR室

〒150-0001 東京都渋谷区神宮前2-34-17 住友不動産原宿ビル

TEL: 03-6866-3000(代) FAX: 03-6866-3900 E-mail: pr@infocom.co.jp

